

令和5年度第15回ヨコハマeアンケート

無電柱化に関するアンケート

実施期間 令和5年10月27日（金）から11月6日（月）

事業所管課 道路局 企画課

回答者数 1,373人（回答率：28.6%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,799人（10月27日時点）

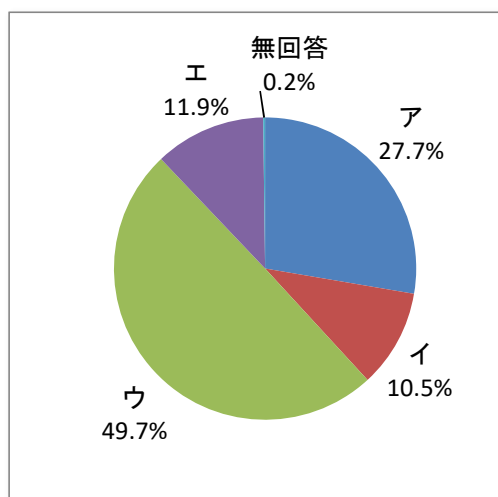
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	0 (0.0%)	17 (1.2%)	90 (6.6%)	226 (16.5%)	400 (29.1%)	345 (25.1%)	281 (20.5%)	1,359 (99.0%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	2 (0.1%)	3 (0.2%)	2 (0.1%)	4 (0.3%)	12 (0.9%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)
計	0 (0.0%)	19 (1.4%)	91 (6.6%)	228 (16.6%)	403 (29.4%)	347 (25.3%)	285 (20.8%)	1,373 (100.0%)

Q1 本市では、都市の防災力の向上、良好な都市景観の形成や観光振興、安全で快適な歩行空間の確保を図るため、道路上に張り巡らされた電線類や電柱をなくす「無電柱化」を進めています。あなたは「無電柱化」について知っていましたか。
(単一選択)

n = 1,373

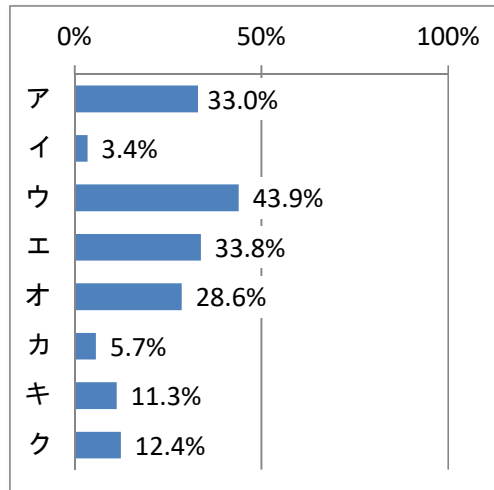
ア	目的も施策の実施内容も知っていた (Q2へ)	27.7%	380
イ	施策の実施内容は知っていた (Q2へ)	10.5%	144
ウ	言葉は知っているが施策の実施内容は知らなかった (Q4へ)	49.7%	683
エ	知らなかった (Q4へ)	11.9%	163
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,373



Q2 Q1で「ア 目的も施策の実施内容も知っていた」、「イ 施策の実施内容は知っていた」と答えた方は、どの媒体を通じて知りましたか。
(複数選択可)

n = 524

ア	テレビ	33.0%	173
イ	ラジオ	3.4%	18
ウ	雑誌・広報誌	43.9%	230
エ	新聞	33.8%	177
オ	ウェブページ	28.6%	150
カ	SNS	5.7%	30
キ	口コミ	11.3%	59
ク	その他	12.4%	65



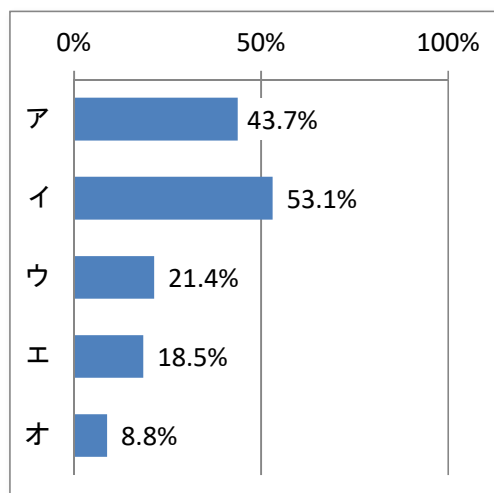
その他(抜粋)

近隣に無電柱化の道路がある。
実際の工事現場や看板などを見た。
仕事で関わっている。

Q3 Q1で「ア 目的も施策の実施内容も知っていた」、「イ 施策の実施内容は知っていた」と答えた方は、どうやって知りましたか。
(複数選択可)

n = 524

ア	自然災害による電柱倒壊の報道	43.7%	229
イ	無電柱化PR等の広報	53.1%	278
ウ	市の事業計画書等を見た	21.4%	112
エ	勉強したことがある	18.5%	97
オ	その他	8.8%	46



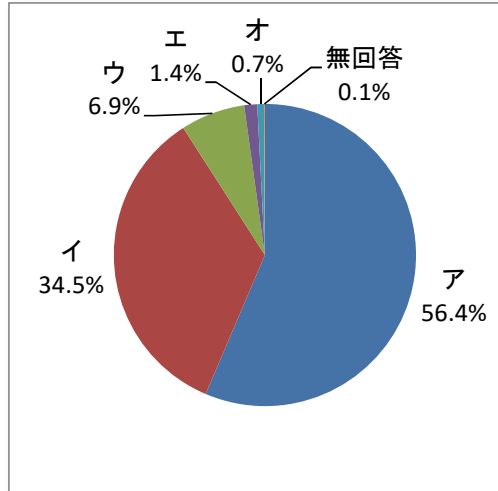
その他(抜粋)

他の自治体が無電柱化を進めていることをテレビで見た。
子供の時に住んでいた地区で実施していた。
工事実施の案内で知った。
仕事で関わっている。

Q4 あなたは、道路上にある電柱・電線がなければよかったですと感じたことはありますか。
(単一選択)

n = 1,373

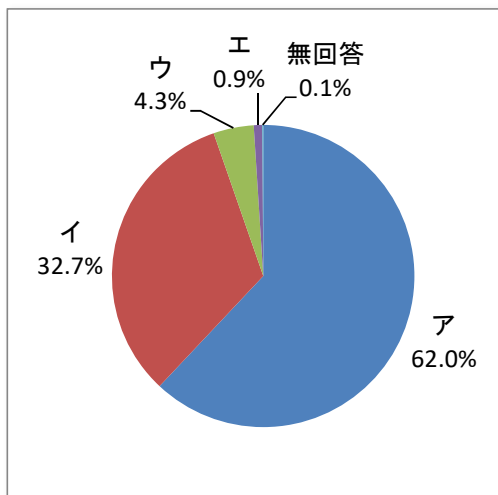
ア	よく感じる	56.4%	773
イ	たまに感じる	34.5%	474
ウ	あまり感じない	6.9%	95
エ	感じない	1.4%	19
オ	わからない	0.7%	10
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,373



Q5 無電柱化の推進についてどう思いますか。
(単一選択)

n = 1,373

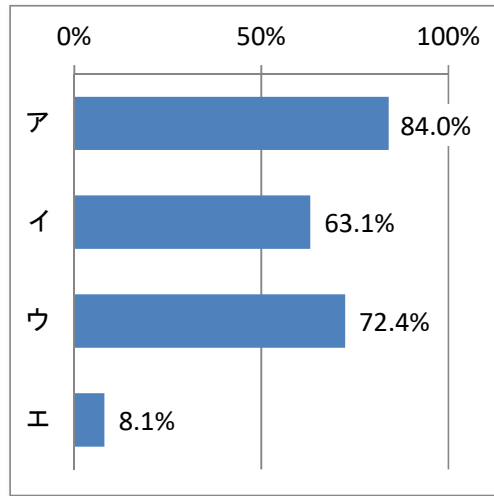
ア	積極的に進めるべき (Q6へ)	62.0%	852
イ	どちらかといえば進めるべき (Q6へ)	32.7%	449
ウ	どちらかといえば進めなくてよい (Q7へ)	4.3%	59
エ	進めなくてよい (Q7へ)	0.9%	12
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,373



Q6 Q5で「ア 積極的に進めるべき」、「イ どちらかといえば進めるべき」と回答された方にお聞きします。
 どのような理由でそう思いますか。
 (複数選択可)

n = 1,301

ア	自然災害時に電柱倒壊や電線破断による被害を防ぐため	84.0%	1,093
イ	街の景観向上のため	63.1%	821
ウ	歩行者やベビーカー・車いす利用者の安全性・快適性向上のため	72.4%	942
エ	その他	8.1%	105



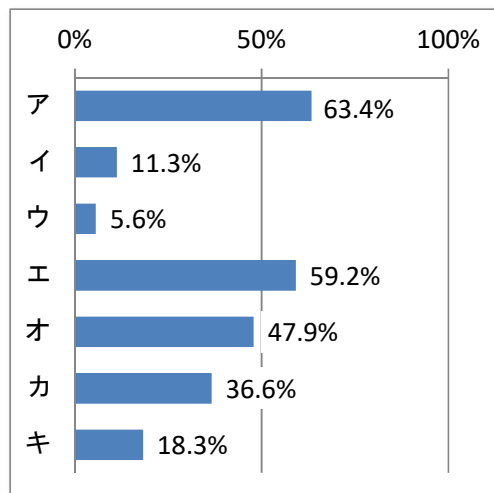
その他(抜粋)

狭い道に電柱が立ち、自動車同士のすれ違いにも苦勞する場所が多く、困っているから。
 鳥の糞害防止のため。
 犬が電柱で糞尿するのを防ぐため。

Q7 Q5で「ウ どちらかといえば進めなくてよい」、「エ 進めなくてよい」と回答された方にお聞きします。
 どのような理由でそう思いますか。
 (複数選択可)

n = 71

ア	他の事業を優先させた方がよい	63.4%	45
イ	工期が長い	11.3%	8
ウ	工事中の騒音	5.6%	4
エ	地中化した電線類が破損した際、復旧に時間がかかる	59.2%	42
オ	電線や電柱があっても景観が悪いと感じない	47.9%	34
カ	歩行の際に電柱を支障に感じない	36.6%	26
キ	その他	18.3%	13



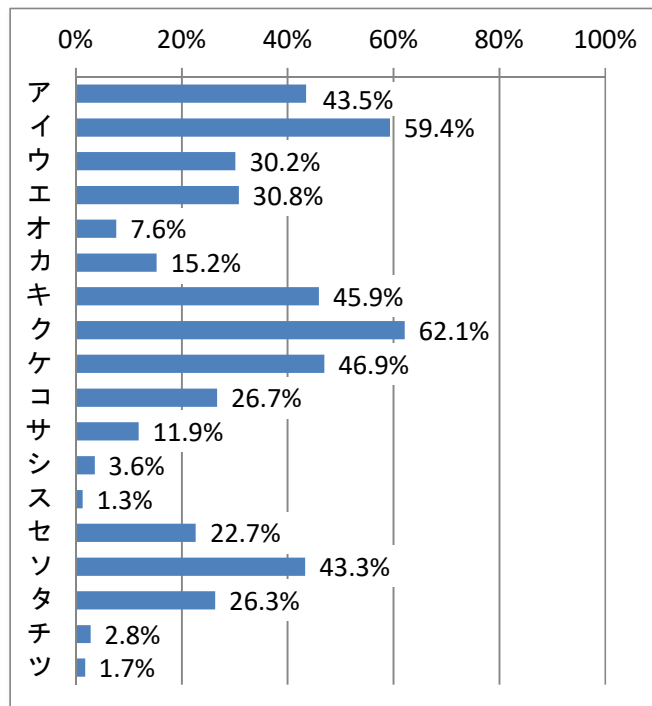
その他(抜粋)

地中に色々な物が埋設されていると思うから。
 電柱に設置されている「街区表示板(その場所の住所が書かれた看板)」が、救急車を呼ぶときなどのときに役に立つと思うから。
 新しい建物に電力等を引くたびに道路を掘り返さなければいけなくなると思うから。

Q8 無電柱化には、景観・安全・防災といった効果があります。あなたが、無電柱化を優先的に進めた方がよいと思う市内の道路はどれですか。以下の中から、あなたのお考えに近いものを5つまで選んでください。
 ※「ツ 無電柱化を進めなくてよい」を選択した場合、他の回答は選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 1,373

ア	交通量が多い幹線道路	43.5%	597
イ	人通りの多い駅周辺の道路	59.4%	815
ウ	人通りの多い大型商業施設周辺の道路	30.2%	414
エ	救急病院周辺の道路	30.8%	423
オ	警察署周辺の道路	7.6%	105
カ	消防署周辺の道路	15.2%	209
キ	学校周辺の道路(通学路など)	45.9%	630
ク	歩道がないバス通り	62.1%	853
ケ	生活道路(住宅街の道)	46.9%	644
コ	商店街の通り	26.7%	366
サ	公園周辺の道路	11.9%	163
シ	市役所・区役所周辺の道路	3.6%	49
ス	土木事務所周辺の道路	1.3%	18
セ	避難所周辺の道路	22.7%	311
ソ	災害が発生した場合に救命活動や物資輸送を行うための道路	43.3%	595
タ	観光地周辺の道路	26.3%	361
チ	その他(自由記載欄 有)	2.8%	38
ツ	無電柱化を進めなくてよい	1.7%	24



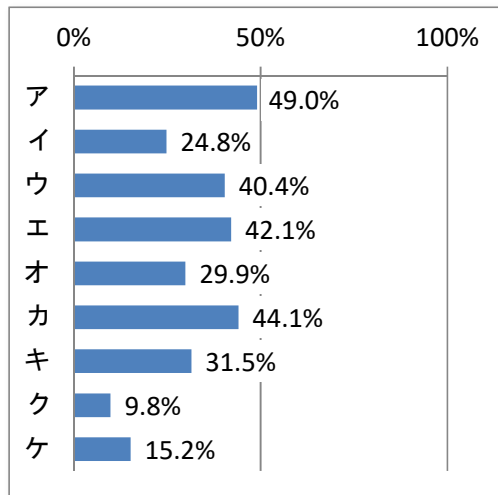
その他(抜粋)

狭い道路
地震火災のリスクが高い地域
費用対効果を考えて決めるべき

Q9 景観向上のために無電柱化の方がよいと思う場所を選んでください。
 ※「ケ 特になし」を選択した場合、他の回答は選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 1,373

ア	横浜駅周辺	49.0%	673
イ	新横浜駅周辺(主な施設:横浜アリーナ、日産スタジアム)	24.8%	340
ウ	関内駅周辺(主な施設:横浜スタジアム)	40.4%	555
エ	中華街	42.1%	578
オ	三溪園周辺	29.9%	410
カ	港の見える丘公園周辺	44.1%	605
キ	山手地区	31.5%	432
ク	その他	9.8%	135
ケ	特になし	15.2%	209



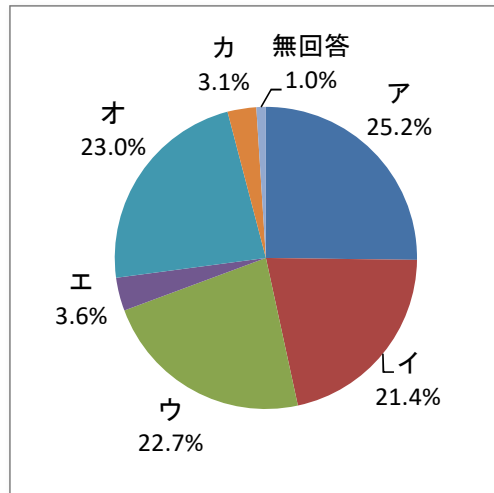
その他(抜粋)

富士山が見える所
寺家ふるさと村
商店街
住宅街

Q10 11月10日は「無電柱化の日」と定められており、本市では毎年無電柱化の意義や効果を広報しています。次の中から、広報手段として最も効果的だと思うものを選んでください。
 (注)デジタルサイネージ:商業施設や交通機関、店頭、公共空間などで、ネットワークに接続したディスプレイで映像や情報を表示するシステム
 (単一選択)

n = 1,373

ア	ホームページや動画サイトなどインターネットを活用した情報発信	25.2%	346
イ	X(Twitter)、公式LINEなどのSNSによる情報発信	21.4%	294
ウ	広告やデジタルサイネージ(注)などによる情報発信	22.7%	312
エ	講演会やイベント開催などの啓発活動	3.6%	49
オ	パンフレットや広報誌	23.0%	316
カ	その他	3.1%	42
無回答		1.0%	14
		100.0%	1,373



その他(抜粋)

TVやラジオによる告知・広報

Q11 「無電柱化」について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
 (自由意見)

(抜粋)

積極的に無電柱化を進めてください。
メンテナンス性などを考慮しつつ進めていただけたらと思います。
他の施策と合わせ、最も効率的でコストメリットのあるように進めていただきたい。例えば、電柱の老朽化対策や水道管の老朽化に伴う交換等の施策と合わせ、組織を越えた実施計画をお願いしたい。
海外と比べて、かなり遅れていると思います。景観を損なう高層ビルの建築を続けるより、無電柱化を進めて、横浜の魅力を下げないように取り組んでいただくことを期待します。
電柱が道路の幅を狭くしているので、車と人がすれ違うときに危険な所もある。道路が狭くて人、車の多い所を優先的にやってほしい。
道路の照明に支障をきたさないように進めてほしい。
無電柱化することによるデメリットがあれば教えてほしい。
景観や安全を考えると必要とも思う一方、地下化すると見えない所の安全が心配です。また膨大な予算が必要になるので、優先順位としてはそこまで急がなくてもいいのではと感じます。
電柱には、地域名や生活面での案内の看板などが貼り付けされていて便利な面もあります。無電柱になった場合には、それらに代わるべきものも配慮していただきたい。
費用がかかるため、費用対効果を考えた方がよい。